

実績報告の
テーマごとに作成してください。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	小金井公園ハイジ保育園
----	-------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「光と色」

<テーマの設定理由>

保育室に南向きの窓があり、1年を通して明るい光が差し込む関係で、子どもたちが1日を通して外を見る様子が見られたため。この園ならではの特徴を生かして、部屋に入り込む光と色を様々な形で取り入れたいと思い「光と色」というテーマにした。

2. 活動スケジュール

令和7年6月～令和8年3月

6月 カラーオーガンジーの布を複数枚購入、作成

6月16日 カラーオーガンジーを子どもたちに見せて一緒に遊ぶ

6月19日 カタツムリのステンドグラスを模したモービル飾り作成、展示

7月1日 オーガンジーの1枚を使って天蓋作成、設置

7月9日 海の生き物のステンドグラスを模したモービルを作成、展示

7月7日 色いろメガネ作成

8月5日 カラフルハウス作成

9月1日 天蓋の2パターン目作成、設置

9月26日 西側の窓にステンドグラス設置

*ステンドグラス、天蓋は通年展示した。

また、カラーオーガンジーの布と色いろめがね、カラフルハウスも子どもたちの目の入る所に置き好きなタイミングで遊んで楽しめるようにした。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

カラーオーガンジー：ピンク・水色・緑・オレンジ・黄色・白のオーガンジーを購入。そのうちの5色は端を縫い、子どもたちの手に持ちやすい大きさで作成して玩具と一緒に置いた。頭にかけると不思議そうにしたり、いないいないばあの動きをもう1回と繰り返し楽しんだりする姿が見られた。後半になってくると色の違いも分かり、好きな色を手を取っていた。

天蓋：お姫様が眠るベッドのように部屋に天蓋を設置したら楽しいのではないかという話になり、設置した。天蓋は見た目が綺麗なだけでなく、日差しの強さも和らげてくれた。設置後は上を見上げて不思議そうに観察していた。抱っこして手や顔に触れるとくすぐったい様子を見せていた。活動の中で風船を乗せると手を伸ばして取ろうとしていた。

スタンドグラス (モービル)：季節に合わせて生き物や花を取り入れながらモービルを作った。窓際のため風でゆらゆら揺れるのをじっと見ていた。ロールカーテンの下に設置したことで日中は光に透けるのを観察したり、夕方はロールカーテンを下げて実際に触れてみると興味津々だった。

色めがね：花形にかたどった段ボールを2枚用意。覗き穴をくり抜き、そこにラミネートしたカラーセロハンをダンボールで挟んだ。子どもたちが午睡中に広げて置いておいた。1人の子が近寄って手に取ると次々と近付いてきた。使い方を伝える前に持って除く動作をしていて驚いた。その後も顔をくっつけて友だちや保育者と顔を見合ったり、「～ちゃんいた」「～せんせいおーい」と名前を呼んだりして楽しんでいた。

カラフルハウス：段ボールとカラーセロハンを使って家を作った。穴やセロハンから顔や手を出して楽しんでいた。特に光の入りやすい夏頃までは窓際に設置して、子どもたちが光を見たり触れたりできるようにした。夏場でカラーセロハンに反射した床のマットが陽によって温まっていて、保育者が「暑いね」と話すと子どもも触りながら「あちっ」と楽しんでいた。後半は子どもたちの成長に合わせて本当の家のように楽しんだ。おままごとや、マットの台を置くと座って「いただきます」「どうぞ」などのやり取りが始まったり、「いただきます」と出入りして買い物を楽しんだりする姿が見られた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・部屋の特徴を生かして通年光と色について取り組んだ。最初は保育者側が設定・設置しながら環境設定を整えていたが、子どもたちが成長するにつれて段々と遊び方や視点が変わってきていることに気が付いた。カラフルハウスや色いろめがねなどは特に1年を通して遊び方に変化が見られた。最初は見たり触ったりして何なのかを確かめるところから始まった。次は保育者が実際に手に取り遊んでみるなど、段階を踏んで行った。すると段々と保育者が仲介しつつも子どもたちのなかで遊びが広がっている様子が見られた。「光と色」という身近に感じられるテーマを通して、子どもたちの1年の成長を見届けられていい経験となった。